

2024年5月16日(木) ペアスクランブルゴルフ概要

【競技方法】

18ホールオリジナルスクランブル方式によるペア戦 ※集計は新ペリア(ダブルペリア)

1ペア2名がティショットを打つ。セカンドショット以降はその中からチームとしてベストポジションと思われるボールを選択し、その地点から2人が打つ。

(選択されなかったボールは速やかにピックアップしその地点へ)これをカップインまで繰り返す。カップインした時点でスコアは確定する。

先の打順のプレーヤーのショット又はパットがカップイン(この時点でスコアは確定)した場合でも、以降の打順のプレーヤーがショット又はパットをすることができる。(練習ストロークとみなさない)但し、これらのショット又はパットのためにプレーを不当に遅延させてはならない。

ゲーム中プレスされた球はアドレスをした時点でインプレーとなる。

【ティショットの制限】

●男性×男性ペア 青ティ使用 ※65歳以上の男性は白ティの選択も可

ティショットにおいて18ホール(ショートホール含)ラウンド中、1人最低7ホールのティショットを選択しなければならない。ホールアウトの時点でこの条件をクリアできない場合は1ホールにつき2罰打とする。

7ホールのティショットを選択していない場合は、1ホールにつき2罰打とする。但し、最大4ホール分の8罰打を最大罰とする。

●男性×女性ペア 男性:青ティ・女性:赤ティ使用 ※65歳以上の男性は白ティの選択も可

ティショットにおいて18ホール(ショートホール含)ラウンド中、1人最低5ホールのティショットを選択しなければならない。ホールアウトの時点でこの条件をクリアできない場合は1ホールにつき2罰打とする。

5ホールのティショットを選択していない場合は、1ホールにつき2罰打とする。但し、最大4ホール分の8罰打を最大罰とする。 ※ハンデの都合上後半ホールの9番から6番ホールの4ホールに罰打加算

●女性×女性ペア 赤ティ使用

ティショットにおいて18ホール(ショートホール含)ラウンド中、1人最低4ホールのティショットを選択しなければならない。ホールアウトの時点でこの条件をクリアできない場合は1ホールにつき2罰打とする。

4ホールのティショットを選択していない場合は、1ホールにつき2罰打とする。但し、最大4ホール分の8罰打を最大罰とする。 ※ハンデの都合上後半ホールの9番から6番ホールの4ホールに罰打加算

【ティショット～グリーン】

ティショットは1ペア2名が打つ(ペア内容でティが異なる)

セカンドショット以降はペアの中でベストポジションと思われるボールを選択する。

その他のボールは速やかにピックアップし、選択したベストポジションにティペグでマークをする。そのティペグからホールに近づかない半径30cmの半円の中に自分のボールをプレスし、ペア2名が打つ。

※プレスはフェアウェイ・ラフどちらでも可

打順はペア内で決めることができる。

バンカー内のボールを選択した場合は1人が打つごとにそのバンカーは均すことができる。

マークしたティペグは最後の選手がボールをプレスするまで取り除かないこと。

【グリーン上】

グリーン上でも採用するボールを選択する。

そのボールをマークしホールへ近づかない半径15cmの半円内にボールをプレース。ペア内のどちらかがカップインした時点でそのホールのスコアが確定。マークは最後の選手がボールをプレースするまで取り除かないこと。

【タイの決定方法】

新ペリア(ダブルペリア)方式にて、スコアがタイの場合は、松・富士のどちらからのスタートにかかわらず、

- (1)ハンディキャップ少数上位
- (2)後半ホールの9番からのカウントバックの順にて順位を決定する。

【スコア】

各ペア代表者のスコアをカートナビに入力してください

18H ダブルペリアにて集計

【スクランブルゴルフの注意点】

『ティショットの順番は？』

チーム内で相談し、好きな打順で打つことができます。異なるティグラウンドを使用する場合、後ろのティグラウンドのプレーヤーから打っていきます。

『マークをしてからセカンドショットを打とう！』

ベストポジションとして選択するボールが決まったら、ボールの横にティペグなどでマークをします。マークから半径**30cm 以内**にボールをプレース(そのまま置く)してショットをします。マークの取り忘れには気を付けましょう。

『ボールは拭いてもいいの？』

ピックアップしたボールが汚れている場合は、拭いても構いません(グリーン上でなくても)。スクランブルゴルフは、最高のポジションとコンディションでゴルフを楽しむプレー方法です。

『バンカーは均してもいいの？』

2番目以降に打つ人はバンカーを均してプレースしてもかまいません。目玉になっているボールをピックアップした場合もマークをした後、バンカーを均してプレース(そのまま置く)して結構です。

『真後ろからパターのラインを見てはダメです！』

仲間のパッティングラインが気になっても真後ろから見るのはルール違反(規則 14-2b 球の後方でのキャディーやパートナーの位置)です。「お先に！」は要注意！カップインした時点でそのホールのスコアが確定します。ですので「お先に！」はせず必ずマークをして他のメンバーのカップインを祈りましょう。

『ティショットのノルマに気を付けよう！』

男性2名のペア戦の場合7ホール、男女2名のペア戦の場合5ホール、女性2名のペア戦の場合4ホールで、自分のティショットを採用する必要があります。このノルマをクリアできない場合、1ホールにつき、2打のペナルティが発生します。但し、最大4ホール分の8罰打を最大罰とする。 ※ティショットの制限参照